

秋林たかし ちば県政報告



平成31年 春号

安心・安全の「ちば」へ

『秋林たかし』は、いのちを守る政策を実現します！

千葉県における課題に対し、平成30年度の議会質問で取り上げた項目に対する答弁について、その一部をご報告いたします。

平成30年6月定例県議会 代表質問

ひとり親家庭医療費助成の 利便性向上を！

Q ひとり親家庭に対する医療費助成について、利用者視点に立った制度とするためにも、本県も窓口負担の必要のない現物給付化へ、県が率先して進めることを求めました。

A 滝川副知事より「ひとり親家庭の医療費助成制度については、現物給付とした場合に課題はありますが、利用者の利便性向上につながるものと認識しています。ただ、一方で、平成29年3月に市町村に対し実施した給付方法に関する意向調査では、償還払いと現物給付で意見が分かれています。こうしたことから、現物給付化の実現のためには、市町村の理解を促進することが重要と考えています。そのため、県では、他団体の先行事例を調査・分析するとともに、市町村をはじめとする関係機関と意見交換を重ねるなど、検討を行ってまいります。」との回答がありました。

生活道路における 交通安全対策の強化を！

Q 生活道路や通学路の安全対策のひとつとして、持ち運び可能な新型オービス（速度違反取締り装置）を千葉県も導入することを求めました。

A 永井警察本部長より「新型オービスの導入につきましては、すでに導入している他県における取締効果などを調査したところ、少人数、省スペースで設置可能であり、設置場所における路線の車両速度が減少するなどのメリットが認められていることから、千葉県におきましても導入にむけて、関係機関と調整を図ってまいりたいと考えております。」と回答がありました。

既存介護施設のリニューアル 工事の支援強化を！

Q 特別養護老人ホーム等の介護施設の新設とともに、既存の施設のリニューアル工事への補助について強化することを訴えました。

A 森田知事より「県では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、特別養護老人ホーム等の介護施設について、千葉県高齢者保健福祉計画に基づき、市町村と連携して計画的に整備を進めているところです。特別養護老人ホーム等の整備については、新設だけでなく、施設の老朽化により、利用者等の安全や安心な環境が損なわれないよう、増改築に要する経費についても、県では助成の対象としています。また、地域密着型の介護施設等については、国において、耐震化改修や施設の老朽化に伴う大規模修繕等に対し、助成を行っているところです。県としては、今後とも、これらの制度の周知に努めるとともに、増改築工事など、必要な整備に対し支援を行ってまいります。」との回答がありました。

Q 松戸駅周辺の活性化のためのまちづくりにおいて、県の支援の強化を訴えました。

A 高橋副知事より「松戸市では、松戸駅周辺地域の活性化を図るため、都市計画や金融、税制等の支援が受けられる『都市再生緊急整備地域の指定』に応募したところ、昨年12月に全国5箇所の候補地の1つに選定されました。今後、松戸駅周辺地域が、都市再生の拠点として整備が進むよう、必要な助言や協力を行ってまいります。」との回答がありました。



松戸駅周辺まちづくりへの 支援強化を！